

## 議 事 録

1. 会議の名称 池田市発達支援システム検討委員会
2. 開催日時 平成29年3月16日(木)午後3時～5時
3. 開催場所 府市合同庁舎5階大会議室
4. 出席者  
《委員》 片山委員長、小川副委員長、高津委員、  
村田委員、山田委員、乾委員、高光委員、竹内委員  
※永井委員、平田委員、岡井委員は欠席。  
  
〈大阪大学〉 村田特任研究員  
〈大阪府〉 (地域生活支援課) 瀬野総括主査  
〈事務局職員〉 藤井子ども・健康部長、  
(発達支援課) 武田課長、佐渡主幹、  
(健康増進課) 山田課長、  
(障がい福祉課) 大賀課長
5. 議 題  
(1) 平成28年度の取り組みについて  
(2) 平成29年度の取り組みについて  
(3) 大阪府における発達支援に関する取り組みについて  
(4) 各委員からの案件について(意見交換)  
(5) その他
6. 議事経過 別紙
7. 公開・非公開の別 公開  
※非公開の理由
8. 傍聴者数 なし
9. 問い合わせ先 池田市 子ども・健康部 発達支援課  
(072) 752-1111 内線190  
(072) 754-6102 (ダイヤルイン)  
E-mail h-shien@city.ikeda.osaka.jp

議 事 経 過

発言者	発言の要旨
市長	<p>○開会</p> <p>最近、20歳まで使える「母子健康手帳」や電子母子健康手帳に関する報道を目にすることがありますが、本市では大阪大学に指導をお願いし、平成25年度には「いけだつながりシート Ikeda_s（イケダス）」を完成、普及と推進に努めているところです。</p> <p>昨年6月からはイケダスの電子版である「e-Ikeda_s（イーイケダス）」の運用も開始しており、これらの取り組みにつきましては、先進的な事例として、府内はもちろん、他の自治体からも評価を得ております。</p> <p>今後も本市の発達支援施策につきましては、就学前、学齢期、就労期まで、それぞれのライフステージに応じた発達支援を一貫して行うためのシステム構築を推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。</p>
事務局	<p>（市長退席後、出席状況など報告）</p>
委員長	<p>前回の委員会で、年度ごとの取り組みについてバラバラに説明いただくより、一括でもらったほうがスムーズでしたので、案件（1）と案件（2）について、一括で説明をお願いします。</p>
事務局	<p>案件（1）平成28年度の取り組みについて 案件（2）平成29年度の取り組みについて</p> <p>（資料に基づき、28年度における各種事業に関する実績や進捗状況、29年度に予定している事業などについて説明）</p> <p>イケダスとイーイケダスについては、より良いサービスの提供と継続利用を促進するため、アンケートを実施しているところです。</p> <p>また、一人でも多くの方に知ってもらおうと、これまでは利用者である市民向けのPRを中心に行ってききましたが、今年度は教育委員会の協力を得て、昨年11月末から市立幼稚園や小中学校の教職員を対象に勉強会を実施しました。今後も引き続き、教職員向けはもちろん、職員向けの研修も検討したいと思います。</p> <p>障がい児の通所支援事業所については、以前より、その質の担保が</p>

<p>事務局</p>	<p>問題視されておりますが、本市では、これまで大阪府が各療育拠点での研修開催や個々の事業所を対象に行っていた研修を、箕面市と能勢町、豊能町と合同で開催しました。そのほか、大阪府による事業所の実地指導にも同行させていただきました。</p> <p>29年度の事業概要としては、引き続き大阪大学と研究委託という形で連携させていただき、「イケダス」の普及や啓発として、教職員などを対象とした勉強会を引き続き実施し、活用促進を進めるとともに、アンケートや検討を踏まえつつ、イーイケダスの完成とさらなる充実を図りたいと考えています。</p> <p>また、運用から3年が経過することから、「かおテレビ」の促進に向け、1歳6カ月児健診の実施時に健診の終了した方を対象に実施するだけでなく、待ち時間も含めた実施方法の検討や、職員自身が操作できるように、研修会の実施も今後の検討課題であると考えています。</p> <p>さらに、委託研究の内容を可視化するため、例えばイケダスが完成してから10年になる平成33年度には、これまでの効果などを測定、検証し、目に見える形にして公表できる準備を進めるなど、短期、中期、長期といった観点から着実に進めていきたいと思っております。</p> <p>他の自治体からも注目されている本市の取り組みが、今後も先進的なものとなるよう、努めてまいりたいと考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>教職員を対象にイケダスの説明会を行えたのは、非常に意義深いことだと思います。ただ、いつまでも大阪大学に任せるのはいかがなものでしょうか。もちろん協力は惜しみませんが、池田市が責任をもって説明を行うべきだと思います。</p> <p>また、説明会を通じて書き方のレクチャーの必要性も感じました。</p>
<p>事務局</p>	<p>本来はリーダー的な存在が何人かいて、その人が中心になって説明をすることで広がっていけばと考えています。イケダス作成時のメンバーはもちろん、今回の説明会を通じて理想を言えば各校園、小中一貫なのでせめて各学園に2～3人、そういう方ができればと思います。そのためにも、内部向けの説明会を繰り返し実施する必要がありますので、ご協力いただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>通所支援施設数について。近隣市と比較して、池田市ではあまり増えていないように思いますが、その原因は何だと思えますか。</p>

事務局	<p>比率的には他市とあまり変わらないと思いますが、以前「利用者の利便性を考えると駅前が開所したいが、家賃などが高いのでこの足を踏んでいる」旨の意見を聞いたことはあります。また、単純に施設数が多ければ良いという話でもないと考えます。</p>
委員	<p>事業所間の情報交換ができるかとも思い、事業所研修に参加しましたが、講演を聴くだけのもので、少し残念でした。</p>
事務局	<p>今回初めての実施でしたが、大阪府が実施するより出席者も多く、アンケートの回収率もほぼ100%でした。今後も実施したいと考えていますので、次回はぜひ意見交換の場も設けたいと思います。</p>
委員	<p>事業所の一覧表があれば便利だと思います。どのようなスタッフが配置されているのかも分かれば、とても助かります。</p>
事務局	<p>許認可をする際に配置状況なども分かることから、大阪府に「府内の情報をまとめてほしい」とお願いしたことがありますが、そのころと比べて市内の事業所数も増えてきましたので、独自で作成する必要があると思います。</p>
大阪府	<p><b>案件（3）大阪府における発達支援に関する取り組みについて</b>          （資料に基づき、28年度における大阪府の発達障がい児者総合支援事業の実績や進捗状況、29年度の予算要求などについて説明）</p>
委員長	<p>これまでも大阪府から説明してもらっていますが、3年間の経緯などが比較できて非常に分かりやすい資料だと思います。池田市の資料についても、部局を越えて全体的な取り組みや流れが分かるものの提示を期待します。</p>
事務局	<p>次回の本委員会の際には用意させていただきたいと思います。</p>
委員	<p><b>案件（4）各委員からの案件について（意見交換）</b>          イケダスについて、他機関の活用方法を詳しく教えていただきたい。</p>
委員	<p>ケース会議や就学相談などでの活用を検討しています。</p>

様式第 2 号

委員	ペアレントメンターについて、大阪府の事業を活用していますが、池田市独自でも実施してもよいのではないのでしょうか。
事務局	ペアレントメンターとは少し違いますが、29年度から先輩ママがアドバイスなどを行う「子育てサポート事業」を開始します。
事務局	<p>案件（5）その他</p> <p>次回の開催は、何か案件が出ましたら、その際にも開催しますが、特に案件がなければ、28年度決算が出た後の8月下旬から9月中旬ごろに開催したいと考えています。</p> <p>○閉会（委員長挨拶）</p>